

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成28年12月28日
学校名	愛媛大学教育学部附属特別支援学校
PTA会長名	藤田 百香里

実施概要	実施活動名	学校祭
	実施日時	平成28年11月3日(木)
	実施場所	愛媛大学教育学部附属特別支援学校
	実施目的	○ 日頃の学習成果の発表や出店等を通して、本校児童生徒と卒業生、保護者、地域の方、他校生との親睦を深める。 ○ 地域の方に対して、本校児童生徒への理解啓発を深める。
	実施内容	催しもの鑑賞、各部によるゲームコーナーや喫茶コーナー・作業製品販売、福祉施設による模擬店やカラオケコーナーの等
	実施方法	ポスターやチラシを作成し、地域の方や福祉施設、他附属学校園、交流校等に配布する。PTAと児童生徒が協力して企画・運営をする。保護者や本校児童生徒の出店のみでなく、福祉施設や交流校、教職員OBにも出店を要請する。また、卒業生のコーナーも設置し、運営に参加する機会を設ける。交流校の生徒には、本校生徒と一緒に作業製品の販売やボランティアとしての活動も依頼する。
参加人数	本校児童生徒、卒業生、保護者、福祉施設の方、他校生徒、地域の方、教職員OB等	約400人

報告事項	内容	<ol style="list-style-type: none"> 開会式 催しもの(愛媛大学学生によるミニコンサート) イベントコーナー 小学部コーナー、中学部コーナー、卒業生カラオケコーナー、おでカフェ・ハッピー(高等部・喫茶コーナー) 作業製品の販売(高等部・中学部の木工・布工・園芸・印刷作業班の製品 農作物 その他) PTA・元本校教員有志等コーナー(未利用品販売 食品販売 施設・作業所の食品販売)
	結果	<p>当日は天候に恵まれ、例年よりたくさんの方が来てくださり活気のある学校祭となった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 開会式・催しもの(ミニコンサート) 開会式後、愛媛大学で音楽を学んでいる11名の学生がコンサートを行った。金管楽器や木管楽器、エレクトーン、ピアノなど、様々な楽器が奏でる音楽に、参加者は魅了された。楽器や曲の紹介などの趣向を凝らした進行や、子どもたちになじみのある曲の演奏は、大好評であった。 イベントコーナー・バザー 小学部や中学部は、自分たちで企画・準備したゲームコーナーを開催した。どのゲームも出来栄のよさや、児童生徒の運営が評判で、たくさんのお客さんで盛り上がった。高等部生徒による喫茶コーナーも、大変人気で行列ができていた。作業製品販売、収穫野菜販売、福祉施設による食品販売、PTAによる未利用品販売や食品販売、教員OBによるうどん販売とたくさんのコーナーが設けられていたが、どのコーナーもたくさんの人で賑わった。 展示 高等部では、パネルによる作業学習班の活動紹介や作品展示などを行った。
	所感	<p>当日までは、中学部と高等部の生徒がポスターやチラシを作成し、地域に出向いて貼ったり配布したりと、自分たちの力で地域に発信した。また、児童生徒は、来てくださった方に楽しんでもらいたいと、各クラスで工夫したゲームを企画準備したり、心を込めて作業製品を作ったりした。それだけに当日は、ゲームの内容や製品のよさを堂々と説明するなど、積極的に人と関わりをもつことができた。</p> <p>学校祭は、地域の方にとっては恒例の催しもので、生徒が育てた野菜や作業製品の購入を楽しみにしている機会であり、生徒にとっては、自分たちの作ったものが地域の方たちに喜ばれているのを実感し自信と励みになる機会である。そして、卒業生や教員OB、福祉事業所の方もたくさん来てくださり、学校を中心に広く継続的なつながりをもつことができていることも実感できる機会である。このように、学校祭は、本校の教育活動等を地域に理解していただいたり、地域で存在価値を示すことができる児童生徒を育てたりするいい機会となっている。</p>

添付書類

写真



【PTAによる前日準備】



【大学生によるミニコンサート】



【小学部によるゲームコーナー】



【中学部によるゲームコーナー】



【収穫野菜の販売】



【高等部による喫茶コーナー】



カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成28年12月28日
学校名	愛媛大学教育学部附属特別支援学校
学年	全校



開会式では、生徒会長として挨拶をしました。緊張したけど、しっかりとできました。

大学生のお兄さんお姉さんのコンサートは、とてもかっこよかったです。「世界に一つだけの花」のときは、みんなで踊りました。



自分たちが作った製品が、たくさん売れてよかったです。がんばって作ってよかったです。販売も会計も、力を合わせてできました。



中学部2年生で考えて準備したゲームを、みんなに楽しいと言ってもらってうれしかったです。教育実習の先生にも協力してもらいました。



「おでカフェ・ハッピー」でがんばりました。お持ち帰りのお客様に、注文を聞きました。ドキドキしましたが、楽しかったです。上手にできたと思います。



農耕班で育てた野菜です。毎年、並んで買いに来てくれて、うれしいです。安いし、おいしいと言ってくれました。たくさん買いに来てくれたので、忙しかったです。



カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成28年12月28日
学校名	愛媛大学教育学部附属特別支援学校

- 天気もよく、たくさんの方に来ていただき活気のある学校祭でした。この学校祭には、保護者だけではなく、卒業生や福祉事業所の方、以前この学校の先生だった方がたくさん来てくださり、子どもたちに声をかけてくださるので、いつながりができていると感じます。地域の方も楽しみにしてくれているようで、嬉しいです。
- ミニコンサートは、本物・本格的な演奏でよかったです。子どもたちも、演奏に引き込まれている様子がうかがえました。これが伝統になってほしいと思います。
- ミニコンサートでは、子どもたちの知っている曲が演奏されることで、音楽の楽しさを味わうことができていたように思います。全体的に選曲がよくて、大人も楽しめました。
- たくさんの保護者が準備や当日の販売等に参加するので、保護者の交流という意味でもいい機会となっています。
- 子どもたちが自分たちで協力して作ったゲームコーナーや作業製品なので、自信をもってPRできていると感じました。そのような姿を見て、安心しました。来校してくださった方々にも、子どもたちが堂々とゲームの進行や販売を行っている様子を見てもらったのが嬉しいです。
- 子どもたちがのびのびと行動し、楽しんでいる様子が見られていい学校祭だと思いました。小学部の保護者ですが、中・高等部のお兄さん、お姉さんたちのすばらしさにも触れることができるので、憧れの気持ちを持ち、自分たちもがんばろうという気持ちになっているようです。保護者自身も、他の学部のお子さんの様子や活動の様子を見ることができるいい時間となっています。
- 「おでカフェ・ハッピー」でがんばっている高等部の生徒さんの様子を見て、驚きました。しっかりとお客さんをもてなすことができていました。練習をしたのでしょうか、もてなす意味を理解して、また、状況を判断しながら動くことができているすばらしいと思いました。
- それぞれの部で工夫を凝らしていてよかったです。子どもたちも任された役割に集中して取り組んでいました。
- 年に1度、この学校に関係する者が集まるいい行事だと思います。卒業生の保護者ですが、子どもはこの日を楽しみにしていました。このような学校祭をずっと続けてほしいと願っています。